

シマヘビによるヤマガラのヒナの捕食行動

島山義彦¹Yoshihiko HATAKEYAMA : Predatory behavior of Japanese Striped Snake *Elaphe quadrivirgata*
on Varied Tit's chicks *Parus varius*

はじめに

筆者は毎年、赤外線カメラを取り付けた巣箱を庭のエノキ *Celtis sinensis* に設置し、ヤマガラ *Parus varius* やシジュウカラ *Parus minor* などの野鳥の子育てを観察している（島山 2017）。樹洞営巣性鳥類の巣に対する捕食者として、本州産ヘビ類についてはアオダイショウ *Elaphe climacophora* とシマヘビ *Elaphe quadrivirgata* が確認されている（川路 1994）。

今年は営巣したヤマガラの巣箱にシマヘビが入り、ヒナを捕食する行動を観察したので報告する。



写真1 ヒナに食料を与える親鳥

シマヘビによるヤマガラのヒナの捕食の様子

今年ヤマガラが産んだ卵の数は7個であった。2018年4月14日に孵化が始まり、孵化7日目の4月20日時点では、5羽のヒナに親鳥が食料を与えている様子を赤外線カメラにより確認できた（写真1）。孵化8日目の4月21日6時43分時点では巣箱の中で親鳥メスがヒナの上に覆いかぶさりヒナを温めている様子が確認できた（写真2）。

同日8時50分、巣箱の巣穴から顔を出すシマヘビが観察された。巣箱内の映像からは、ヒナ2羽を飲み込んでお腹の2ヶ所が膨れているシマヘビとヒナ3羽と卵2個が観察できた。3羽のヒナはシマヘビのとぐろの中央でじっと動かずにいたが、ときおり3羽同時に上を向き、口を大きく開けて鳴いている様子が観察された。親鳥に助けを求めている動作と推測される。しかし巣箱の周辺に親鳥の姿は確認できなかった。

その後残りのヒナ3羽をシマヘビは次々に飲み込んでいった。4羽目のヒナにおいてはヒナを頭から飲み込み（写真3）、飲み込み終わるまで6分間かかっていた。また飲み込まれるヒナよりフンの排出が確認された（写真4：フンは白色の球状）。



写真2 ヒナを温める親鳥



写真3 ヒナを飲み込むシマヘビ



写真4 ヒナがフンを排出

1: 日本野鳥の会神奈川支部 E-mail: bird.hatakeyama@jcom.zaq.ne.jp

キーワード: ヤマガラ、シマヘビ、繁殖、赤外線カメラ、巣箱

Key words: Varied Tits, Japanese Striped Snake, breeding, an infrared camera, bird box

表1 シマヘビのヒナ捕食時間一覧

ヒナ捕食後のシマヘビとヤマガラの子鳥の行動

ヒナ	捕食開始時刻	捕食完了時刻	写真	備考
1羽目	不明 (6:43以降)	不明	-	
2羽目	不明	不明 (8:50以前)	-	
3羽目	不明 (9:45以降)	9:59	写真5	
4羽目	10:01	10:07	写真3、写真4	ヒナ捕食されている間にフンを排出
5羽目	不明 (10:12以降)	10:21	写真6	

シマヘビがヒナ 5 羽を捕食した時間の一覧を表 1 に示す。

3 羽目と 5 羽目のヒナに関してはシマヘビが飲み込む時点の映像を取得できなかったが、捕食中のシマヘビの口から出ているヒナの足の形状から、3 羽目（写真 5）および 5 羽目（写真 6）ともにシマヘビは捕食時に、ヒナを頭からヒナの背を上にして飲み込んだことが確認できた。

一方 4 羽目は頭からヒナの腹を上にして飲み込んでいる（写真 3）ことから、シマヘビはヒナを飲み込むとき頭から飲み込むが、背と腹の向きは関係ないと推測される。

ヒナを飲み込み腹が膨れたシマヘビは直径 3 cm の巣穴から外へ出ることができず、とぐろを巻いて巣箱内に留まった（写真 7）。またヒナを消化し巣穴から抜け出せる状態になったヒナ捕食後の 4 日目には巣穴から 20 cm ほど這い出し、周りの様子をうかがう行動が観察された（写真 8）



写真 5 飲み込まれる 3 羽目のヒナ



写真 7 巣箱内でトグロを巻くシマヘビ

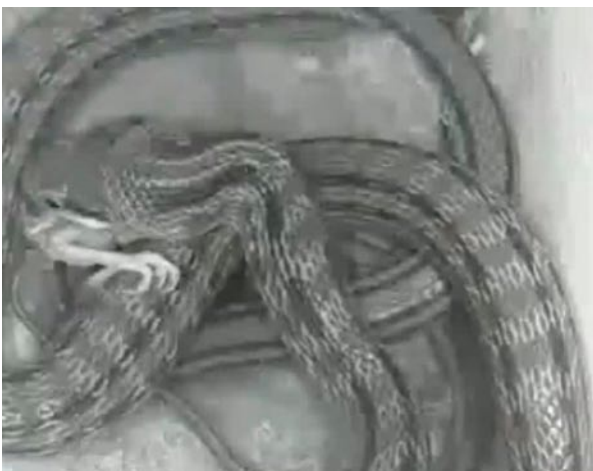


写真 6 飲み込まれる 5 羽目のヒナ



写真 8 外の様子をうかがうシマヘビ

7日目以降は巣箱内にシマヘビは確認できなかった(写真9)。また卵2個も巣箱内に確認できなかったことから、シマヘビはヒナだけでなく卵も飲み込んだものと推測される。

シマヘビが巣箱に入り込むときのヤマガラの親鳥の行動は観察することができなかったが、ヒナを捕食された後の親鳥の様子は観察できた。3日目までは巣箱の様子をうかがいに来ていたが、その後、巣箱の様子をうかがいに来ることはなかった。営巣放棄を選択したのと考えられる。ヒナ捕食後のシマヘビの行動とヤマガラの親鳥の行動を表2に示す。

おわりに

ヤマガラのヒナをシマヘビが捕食する自然界の食物連鎖の一端を垣間見た。ヤマガラの営巣状況を観察する者としては、これも一つの観察事象として受け入れなければならないが、シマヘビのヒナの捕食によりヤマガラの営巣観察を中断せざるを得なかったことは残念である。そこで営巣中の野鳥のヘビ類対策として巣箱を設置した樹木の周囲に電気柵を設置した。今後、電気柵の効果も検証していきたい。

引用文献

- 畠山義彦, 2017. ヤマガラの営巣時の行動について. BINOS24 : 1-14.
 川路則友, 1994. 北海道西部での人工地上巣に対する低被食率について. Jap.J.Ornithol.43 : 1-9



写真9 シマヘビが出て行った後の巣箱内

表2 ヒナ捕食後のシマヘビとヤマガラ親の行動

No.	日付	シマヘビの行動	ヤマガラ親の行動
1日目	4月21日	6:43 以降~10:21 ヒナ5羽捕食 18:02 巣箱内でとぐろを巻いている	17:15 親鳥♀が巣箱近くの枝に止まるがすぐ飛び去る
2日目	4月22日	7:16 巣箱内でとぐろを巻いている 8:50 巣穴から顔を出す、ヤマガラが来ると顔を引っ込める 8:55 巣穴から顔を出したり引っ込めたりしている	8:50 巣箱の近くの枝に止まるが、シマヘビが巣穴から顔を出しているのを見て、すぐに飛び去る
3日目	4月23日	5:50 巣箱内でとぐろを巻いている 17:32 巣箱内でとぐろを巻いている	8:54 親鳥2羽がきて巣箱近くの枝に止まるがすぐに飛び去る
4日目	4月24日	5:46 巣箱内でとぐろを巻いている 11:20 巣穴から30cm程度這い出し、周りの様子をうかがう(10分程度) 18:23 巣箱内でとぐろを巻いている	巣箱周辺でのヤマガラは姿観察できず
5日目	4月25日	6:37 巣箱内でとぐろを巻いている 18:19 巣箱内でとぐろを巻いている	巣箱周辺でのヤマガラは姿観察できず
6日目	4月26日	7:41 巣箱内でとぐろを巻いている	巣箱周辺でのヤマガラは姿観察できず
7日目	4月27日	11:26 巣箱内にシマヘビおよび卵2個は確認できず	巣箱周辺でのヤマガラは姿観察できず
8日目	4月28日	7:21 巣箱内にシマヘビおよび卵2個は確認できず	巣箱周辺でのヤマガラは姿観察できず

